

学校評価だより

令和3年2月26日

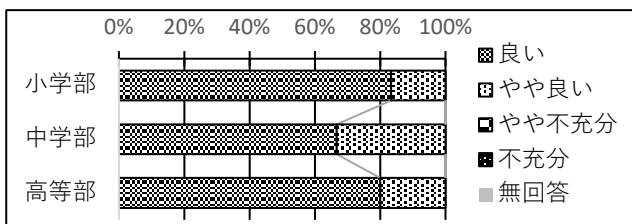
福島県立猪苗代支援学校

今年はいくさんの雪が降り、校庭には大きなスキー・そり用の雪山が出来上がりました。そりで楽しむ姿、スキーを上手に滑れるようになろうと頑張る姿がたくさん見られ、心が温まります。

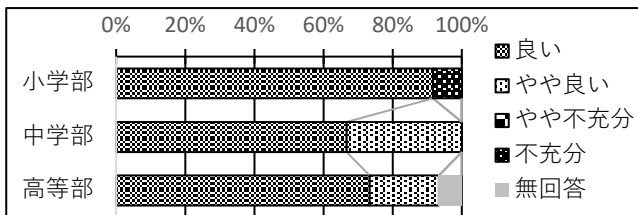
さて、今年度も学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートに回答いただいた結果は、以下のとおりです。どうぞお気付きのことがあれば、遠慮なく学校にお伝えくださるようお願いいたします。

I 令和2年度 学校評価保護者アンケートの結果

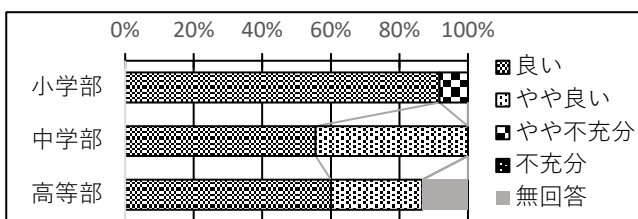
1 お子さんは、毎日、楽しく学校へ行っていますか。



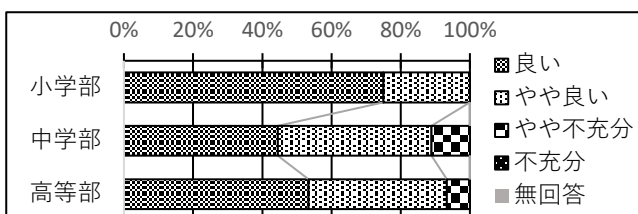
2 学校は、児童生徒に合った学習を行っていると思われるですか。



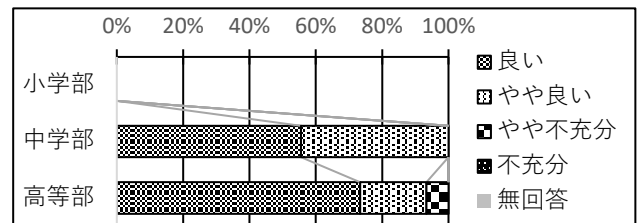
3 学校は、体験的な学習活動を多く取り入れ、児童生徒が自ら学び、集団の中でも学び合いながら、将来の生活に必要な力を育てていると思われるですか。



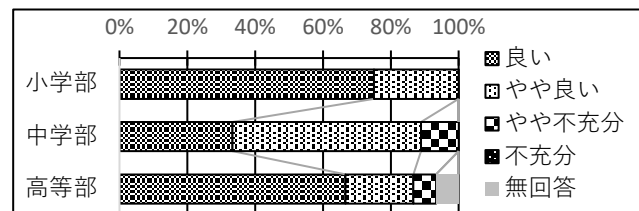
4 学校は、進路情報を分かりやすくお知らせし、卒業後の生活を考えた計画的な進路相談を行っていると思われるですか。



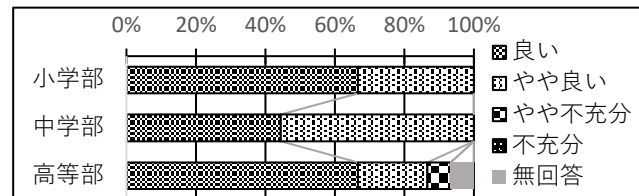
5 学校は、関係機関と連携を図りながら、生徒に合わせた内容で、校内実習や校外実習を行っていると思われるですか。(中学部、高等部の保護者のみ回答)



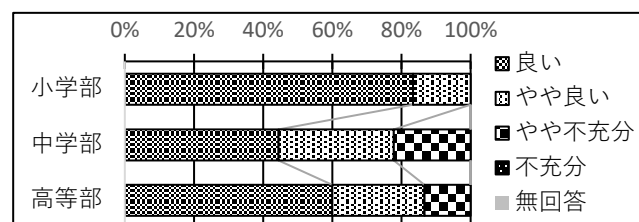
6 学校は、児童生徒、保護者のニーズに応じて、保護者の方同士が情報交換をし合える「はあとふるタイム」や教育相談を行っていると思われるですか。



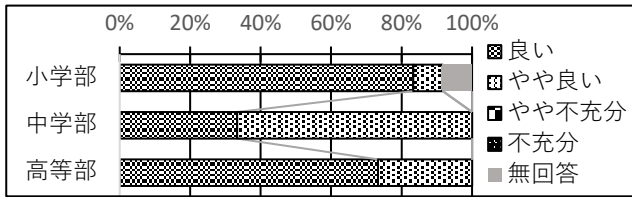
7 学校は、いなっ子セミナーなどを行い、良い授業を行おうとしていると思われるですか。



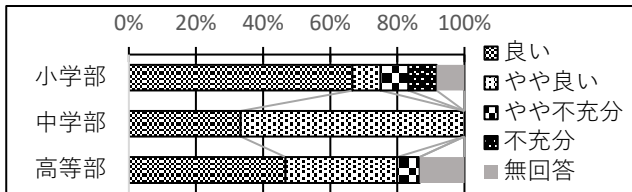
8 学校は、保護者やばんだい荘と協力し、児童生徒の安全を守ったり、問題を共有して積極的に対応したりしていると思われるですか。



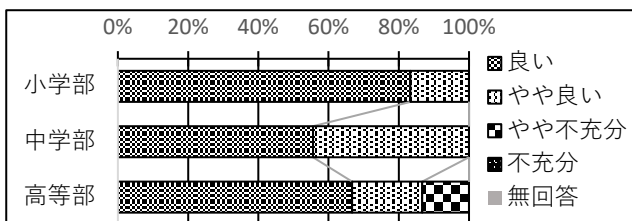
9 学校は、自分や他者を大切に思う気持ちを育てるとともに、命の尊さを伝え、いじめを許さない姿勢で指導に取り組んでいると思われませんか。



10 学校は、積極的に自分手帳を活用して、児童生徒の生活習慣の改善と健康づくりに取り組んでいると思われませんか。



11 学校は、児童生徒の命を守ることを重視して、災害に対する備えや避難訓練などの防災教育を熱心に行っていると思われませんか。



アンケートの中でいただいたご意見

「2 児童生徒に合った学習の実践」

- 何の学習をしているのか、全く見えてこない。できていることをずっとやって、先に行かず、そこ止まりで不安。(小)

「4 進路情報の提供と計画的な進路相談」

- 離れた親にもわかる情報が欲しい。(中)
- 現在、個人的に連絡はとっていますが、面談の機会など、もっとあった方が良いと思う。(高)

「6 ニーズに応じた保護者同士の情報交換の場や教育相談の実施」

- コロナでも情報交換できるようにしてください。(中)

「8 保護者、ばんだい荘との協力し合った積極的な対応」

- その子の障がいに合わせて対応をしてく

ださい。(中)

- 以前よりは改善していますが、もっと密な方が良いと思います。(高)

「10 自分手帳を活用した生活習慣の改善と健康づくりの取り組み」

- 自分手帳のことを知りませんでした。(小)

「全般」

(小学部)

- 楽しく、学校生活を送っていると思います。
- いなっ子セミナーとは、どんな活動ですか。
⇒今年度は本校の教員のみを対象として実施した講演会のことです。本来であれば地域の学校の先生方にも参加いただき、この地域の特別支援教育の発展を目指して実施されるものです。
- 今年はコロナの影響もあり、例年にない状態で1日1日が過ぎていっています。通学生側だけではなく、ばんだい荘生の家族に寄り添ってほしいと思うのはわがままでしょうか。正直しんどいです。
⇒通学生とばんだい荘生の保護者の対応として、区別していることはございません。何かお付きのことがあれば、学校までご連絡ください。

(中学部)

- 関わっている先生方が優しく接して下さるので、安心して通学することができます。

(高等部)

- 担任の先生、学校の先生が生徒の特徴を把握していただいて、よく指導してくださっている。
- 進路については、保護者の負担が大きい、仕方ないのかなと感じる。

アンケートの結果やたくさんのご意見を参考に令和3年度の取り組みに生かしていきます。



Ⅱ アンケート結果を受けて次年度に取り組むこと



アンケートでは、全体として『良い』、『やや良い』の回答が多くよせられました。このことから、保護者の多くの方が、「よく取り組んでいる。」と評価していただいていることがわかります。

同時に、「やや不十分」と回答されたことについては、学校に対するご要望ととらえ、次の2つのことを次年度の課題とし、改善に向けて取り組みます。

課題となったこと

① 自分手帳を活用した生活習慣の改善と健康づくり

自分手帳を活用した生活習慣の改善と健康づくりを行っていかうとする目標を掲げましたが、一人一人の教員が共通理解を図りながら活用することができませんでした。

また、保護者のアンケート回答からも「自分手帳のことは知らなかった。」という意見が聞かれ、教員、保護者ともに指導や生活に役立てることができませんでした。

② 伝える力の育成

高等部生徒には学校生活に関するアンケートを実施しましたが、回答から自分の思いや考えを伝えたり、困ったときや悩んだときに相談したりすることに関する課題が明らかになりました。

また、卒業を間近に控えた高等部教員の多くは将来の生活に必要な力を育てる取り組みに関する回答が他の学部と比べて低い傾向がうかがえ、さらに充実した指導の必要性を感じていることが分かり、生徒が抱えている課題と関連していると思われました。

改善に向けて取り組むこと

- 保健部や養護教諭が中心となって、具体的な活用方法について整理します。
- 教員は整理された活用方法によって、授業や学校生活の中で活用します。
- 保護者の方にも活用方法を示しながら、通知表のように持ち帰る機会を設け、御家庭でも子供達の健康状態や身体的成長などがわかるようにお伝えします。
- 御家庭においては、自分手帳を使って、子供達の成長を一緒に喜んだり、生活習慣を見直したりするきっかけとしてください。
- 小学部から段階的に自分の考えを伝えたり、困ったときに相談したりできる力を育てていくことの必要性について、教員、保護者と共通理解を図ります。
- 教員は伝える力を段階的に育むための具体的な指導内容について、小学部から高等部まで連携して整理します。
- 教員は具体的な指導内容を参考にしながら、子供達の実態に応じて指導します。

－ 自分手帳とは －

ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトの一環であり、健康診断等結果、体力・運動能力 調査結果、食習慣調査結果等を一元管理できる手帳です。詳しくは県のホームページをご覧ください。

Ⅲ 学校評議員の方々の評価

本校では、学校の運営や教育活動の改善を進めるために、次の方々に学校評議員をお願いし、学校参観をしていただいたり、学校の取り組みについて知っていただいたりして様々なご意見をいただきました。

遠藤 光昭さん	猪苗代町心身障がい児(者)手をつなぐ親の会会長
星 恵子さん	猪苗代町人権擁護委員
青柳百合子さん	福島県ばんだい荘あおば兼わかば園長
鈴木 宣夫さん	株式会社オートライト代表取締役
高橋 由起さん	PTA会長

学校評議員会を、5月、11月、2月の年3回実施することとしていましたが、5月は緊急事態宣言が発令されており、開催中止としました。
評議員の方々から、次のような意見をいただきました。



本校の良いところや改善が必要なところ

○良いところ、●改善が必要なところ

- 新型コロナウイルス感染症の収束が見えないところですが、今後も情報交換、共有を行いながら、子ども達の学びを深めていただきたいです。
- 教育活動後援会設立を通して、地域団体の方々にも学校への理解が広がったことが、今後、共に生きることにつながる、良い方向性が見られ、喜んでいます。
- (学校から県道7号線までの道路の側溝に途中までふたが設置されたことを受け) 校外活動の安全対策について、学校からも町へ働きかけてほしいです。地区としても町に対して話をしています。

